

先月に続き自粛が続いている札幌です。夜はまだ肌寒さを感じる日々です。ステイホームにより、家で食事する毎日ですので休日でも買い物に出かける位しかありません。だんだん目が肥えてきて旬な物を食べたくります。

北海道では、今アスパラガスのシーズン。スーパーに行っても沢山並んでいますがグリーン・ホワイト・パープルと本州ではなかなかお目にかかれない3色アスパラが出回って来ています。バター炒め、天婦羅等美味しいですよ。こちらではパープルアスパラは一番甘味があることからサラダとして生で食べる事が多いそうです。大阪にいる頃は、ホワイトを見る事があってもパープルはほとんど見たことがなく新鮮でした。

私も奮発してパープルを買い、ネットで調べながらはかまを取り、斜め切りしたのですが、根元は少し硬いかと思い皮を剥ぎました。オリーブオイルと塩・胡椒を少々振りかけて出来上がりです。食べてみると穂先の方は柔らかくて甘く噂通りでしたが、根元は微妙でしたので次回はもう少し工夫を試みます。ちなみにパープルアスパラも茹でるとグリーンになるので生が一番です。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は50円おにぎり食堂という、少し変わった食堂を紹介いたします。この食堂があるのは、名古屋市中村区の中村区役所のすぐ脇にあり、地下鉄桜通線・中村区役所駅から徒歩からすぐのところ。

店の名前から想像はつくと思いますが、おにぎりがコンビニよりも安い、1個50円でそのほかの総菜類も1皿50円という値段設定です。(おにぎり2個と総菜3皿でも、250円です。安いです。・・・)元々はオーナーさんが、子供の貧困問題に関心が高く社会問題化していることを気かけ、子供たちがお小遣いで食べられる子供食堂を作りたいことがきっかけでしたが、諸事情により子供食堂を作ることは叶わず、子供だけでなく地域の人々が集まる場を作りたいという思いでオープンしたようです。

オープン当初はおにぎりのみそ汁程度のメニュー構成だったようですが、一人暮らしの高齢者の利用が多くなりヘルシーな総菜類のメニューを増やしていったようです。営業時間帯が平日の11時~14時と限られますが、行かれてみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)



世界の拠点から

- From the base in the world -



東京アラートが発令されて、解除されてもおお続く新型コロナ発症人数の発表。夜の街での集団感染、職場クラスター、毎朝の通勤電車はまさに肉弾戦場と化した密室クラッシュ、いつ第二波が来てもおかしくはない環境の中、誰もコロナなんかにかかりたくないのに、東京アラート解除されてから日に日に増えていく感染者数に愕然とする毎日。オリンピックが中止になった途端に感染者数爆上げした例から、都知事選も始まった東京都では、また同じことになってほしくないという声が上がっています。

さてそんな中、こちら東日本営業本部開設時に胡蝶蘭をいただいたのですが、念願叶って1年ぶりに蕾がつか花咲いてくれました！花屋さんのようにプロでもなく育て方も難しいのに本当によく生きてくれた！というのが率直な想いです。『コロナなんかには負けず胡蝶蘭の花は咲く』最近起きた明るい話題のひとつでした。



東日本物流センター 東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

大阪も緊急事態宣言が解除になりましたが、まだ全然油断出来ません。ただ、休日ずっとステイホームしていると体がなまってくるのを実感します。今は不要不急の外出はできませんが、この文章が皆さまの目に留まる頃には県をまたいでの外出もOKになると信じています。

さて、大阪の状況ですが一部全国ニュースでも流れています。大阪吉村知事から感染者数や感染率情報の逐次報告があり、関西ローカルのTVにほぼ毎日の様に出ていると説明されています。

関西の人は吉村知事がTV出演するのは全て無償であるのも知っていますし、包み隠さずに話していただける姿勢に府民もついて行っていると思われ。知事のアイデアで感染者数など目標数値を下回っている時は通天閣と太陽の塔の2か所が『グリーン』にライトアップ。ちょっと数値が上がれば『イエロー』、危険水域で注意は『レッド』のライトアップに変更するとの事。実際、緑色にライトアップされた通天閣を横目に見ましたが確かに一目で安心と分かります。これを赤く染めない様に我々も気をつけねばと思う今日この頃です。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

緊急事態宣言が解除された現在ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私はというものの、自粛生活を継続していることもあり、日々何も出来ないというストレスがたまる毎日であったため、「何か気分転換を・・・」と休日に近所の散歩を始めた今日この頃です。少しでもダイエットに繋がればと薄い期待をしています(笑)

さて、自粛生活が始まってからというもの、無駄に外に出歩くことが少なくなりました。ですが、休日に必ず行くお店が一件。某〇〇用スーパーです。きっかけは休日に、たまたま子供たちが見ていたYouTubeの『某〇〇スーパーのお買い物、おススメランキング!』でした。(なぜ、男二人の兄弟がそんなYouTubeを見ていたのかは知りません・・・)そもそも、何の関心も無かったため、何気ない気持ちで見ていたのですが、意外や意外!色々なものが取り揃えていられるんですね。冷凍食品に始まり、海外のお菓子や食べ物、調味料まで。しかもお求めやすい価格!!YouTubeを見終わった後に早々に買い出しに行き、それなりのもを購入しました。

帰宅後に長男と二人で「あ〜でもない、こ〜でもない」とワイワイしながら、1kgのミンチを使って大量のハンバーグを作りました。(某ハンバーグ専門店の味をまねてみました)ハンバーグはもちろん美味しかったのですが、長男と二人でキッチンに立ち、料理をすることはいい思い出にもなりました。

ちなみに後日、そのYouTubeをなぜ見ていたのか聞いてみたところ、一人暮らしを始める長男が自炊をするために料理の勉強をしていたそうです。「大人になったなあ」と改めて関心をし、成長が嬉しかったです。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

スマートフォン利用者は多くなり、それと同様にSNSの発達も進んでいて買い物・送金・チャット・ビデオ会議・宣伝などが簡単にできるようになっています。

SNS発達のもう一つ大きな役目はオンラインタクシー予約の簡易化です。インドネシアでオンラインタクシーは車タクシーとオートバイタクシーがあります。オートバイタクシーは人を乗せて目的地へ行くだけでなく、依頼した店で商品を購入し指定した場所まで送ることもできます。

最近、近所の主婦たちはSNSで自慢の料理・ケーキの画像と価格をのせ、買ってもらえるように宣伝しています。オンライン売買がうまくいくと、今度は簡単な動画でヘルシーな料理・ケーキの作り方をwebで公開し、広く宣伝をする主婦たちもいます。家で子供の世話をしながら簡単な商売ができるようになり、主婦たちにとっても楽しい一日を過ごせるようになりました。特に現在コロナの影響で家から自由に出入れなくなり、主婦たちのオンライン売買は盛んになっています。

不況の時、ただ落ち込んで終わりを待つのではなく、チャンスだと考えれば必ず色んなアイデア出てきます。それを実際に実施することは大事なことです。

この先不況が終わった時、今実施したことが他の様々な良いことを生み出すに違いありません。

KJ(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～飲んだら乗るな、それでも飲んだら～

折り畳み電動自転車を傍らにヘルメットをかぶったおじさんが2、3人、いや7、8人。中国の夜の繁華街の光景です。もちろん蘇州でも。レストランやバーが立ち並ぶ賑やかな通りでは夜8:00を回ったあたりからこのようなおじさん・お兄さんたちの『稼ぎ時』が始まります。

今年年間新車販売台数が2,800万台を超える中国では交通、環境保護に関する法令が年々強化されています。車で外食に行く人も多くなりましたが、飲酒運転は中国でも、もちろん厳しい罰則が科せられます。

そんな時重宝するのがこのおじさん達なのです。彼らは『代駕』いわゆる『代行運転サービス』です。携帯アプリでのタクシーやUber方式の送迎が広く普及していますが、同じアプリメニューでこの代行サービスを手軽に利用が可能です。電動自転車をコンパクトに折り畳み、車のトランクもしくは後部座席に収納。代行運転手は自分の座る席や自転車収納箇所に保護シートを敷き、車の清潔にも気配りがされています。行先は申し込み時に入力済みなので、酔っ払っていても車とともに家まで無事に到着です。到着すると『おじさん』はまた電動自転車で新たなお客を探しに次の場所へ向かうわけです。支払いもアプリから自動決済でリーズナブル。7、8kmなら1,000円程度とお得です。

飲んだら乗るな、それでも飲んだら代駕で。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

ようやく日本のほぼ全土で緊急事態宣言が解除されたとのニュースを聞いています。

アメリカでは以前に比べ増加のペースは下がってきてはいますが、それでも相変わらず毎日2万人前後の感染者が増え続けています。そして死亡者数も遂に10万人を超えてしまいました。ここカリフォルニアでは外出禁止令が少し緩和され、少しずつ元に戻りつつあります。

スポーツ界でもいよいよ再開や開幕の時期が発表されたりしています。先日それに先駆けて米男子ゴルフのスターであるタイガー・ウッズ、フィル・ミケルソンと米ナショナル・フットボール(NFL)のレジェンドのペイトン・マニング、現役のスーパースターのトム・ブレイディの4人が参加して新型

コロナウイルス対策支援のためのチャリティ大会が行われました。同大会の平均視聴者数は580万人でゴルフのテレビ中継では史上最多の視聴率を達成し、寄付金も2000万ドル(約21億5500万円)以上集まったそうです。プレーも素晴らしかったですが、4人以外にも中継で参加した多くの著名人達の真心のチャリティには感動しました。

アメリカではプロのスポーツ選手や有名人はチャリティ活動に非常に積極的です。逆に言うとチャリティ活動や社会貢献をせずしては一流とみなされることが無いといっても過言ではないと思います。

アメリカでは少しずつではありますが、経済活動を再開しているところもあります。しかしまだ先が見えない状況は変わりません。

KCS(アメリカ)(COO: 板垣 仁志)

～自然の中での運動についてどう思われますか?～

大都会では、緑を見つけるのも困難な場合があります。スペースのほとんどは、建物・道路・商業用として使用されています。

シンガポールは、何年も前から植樹プログラムがしっかりしている都市です。現在の人口は530万人、樹木は700万本です。出生率は少なく、外国人就労規則が厳しくなっているため、人口増加は限られています。一方、植樹プログラムは続いており、将来的にはより多くの木が見られるようになるでしょう。

私の好きな場所の一つに82haの植物園があります。緑やガチョウ、大きなトカゲなどの野生動物を発見するおまけつきで公園をジョギングします。ジョギングコース横をゆっくりと這う大きなトカゲに驚いたこともありますが、人に害はありません。ジョギングをしていると若者から老人まで様々な人が、ヨガ・太極拳・武術・ダンス・瞑想などのアクティビティを行っている姿に出会います。

私にとって自然で行うエクササイズは、週末に心と体をリラックスさせ、すべての仕事のプレッシャーを解放させ、翌週に備える準備の1つです。

あなたは何か始められましたか?

KIO(シンガポール)(E.Wong)

～要塞都市フースデン～

デンボスの近くにフースデンという小さな村があります。この村は、デンボスから15kmほど離れています。こちらはマース川(オランダで有名な川)に復元された美しい要塞都市で豊かな歴史があります。フースデンの歴史は、マース川沿いに都市集落として建造された1200年頃始まりました。

第二次世界大戦では、多くの被害と苦しみを引き起こしました。そして60年代終わり、都市の復興が始まりました。ウォータースポーツのメッカであり、マリナーもあります。古い風車のある城壁があります。週末はこれらの風車が稼働しており、製粉業と共に行楽が楽しめます。要塞を歩き回っても面白いです。非常に小さい村ですが、素敵なお店があったり、ハーバーや広場には居心地の良いテラスがあったりします。古代の建物が並ぶ通りも素敵です。いつもは週末になると多くの観光客で賑わっていますが、コロナのこの時期は、とても静かで近所の人が自転車で散歩するのに適しています。

私も週末たまに自転車で رفتります。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)